

豊島区 ISS 事前指導

2016年6月10日（金）梅雨の晴れ間の暑い日でしたが、ISSの認証取得を目指している豊島区立池袋本町小学校と仰高小学校の二校がISS認証審査員であるチョ・ジュンピル氏（韓国）を迎えて、認証審査申請に向けた事前指導を受けました。

当日は、地域の方や保護者に加えて、他自治体からもISSに認証学校や認証を目指している学校の関係者も視察に訪れました。

1. 池袋本町小学校

板橋区との区境に近い池袋本町小学校は、平成26年4月に豊島区立池袋第二小学校と豊島区立文成小学校が統合して生まれた学校で、今年3年目を迎えています。さらに、今年の2学期からは、豊島区初の小中一体型連携学校として、新たな校舎での生活が始まるため、その準備を進めているところです。



まず、私たちが学校に到着すると、児童のみなさんが手染めのTシャツを着て出迎えてくださいました。池袋本町小学校は以前から地域の方たちとともに藍染に取り組んでおり、藍の育成から染めまですべて児童も一緒に取り組んでいる、「藍染による学校づくり」が特徴です。



まず、校舎に入ると、児童の代表が廊下に掲示している様々なISS活動の様子を日本語と英語で説明しました。

続いて、児童によるISS全体集会の会場となる体育館へ移動し、各委員会が活動しているISSの様子や1年生から6年生まで各クラスの安全・安心の取組みに対する目標と決意などを披露してくれました。子どもたちが自分たちで安心・安全について考え、行動を実践している様子が伝わる集会でした。

子どもたちの報告の後、別会場においてパワーポイントを使ってこれまでの取組について報告がありました。いずれの取組みも課題を的確に把握し、課題にそった取組みを展開されていました。また地域の人たちや保護者の方たちもそれぞれの立場での取組みを報告しました。報告を受けて、チョ先生から質問や今後の取組身に関するアドバイスなどをいただきました。





学校を去る際には、全校生徒がハイタッチなどしながら、心暖かく見送っていただきました。

2. 仰高小学校

池袋本町小学校を後にし、次に仰高小学校に向かいました。仰高小学校は、お年寄りの原宿と言われる巢鴨商店街近くにある創立 140 年の歴史のある小学校です。



韓国からチョ先生が来られるということで、児童代表が韓国語の横断幕をつくって出迎えてくれました。校内に入ると、廊下にはこれまでの ISS 活動を掲示してあり、会場に向かいながら、けが発生状況や活動などこれまでの ISS 活動歩みについて説明がありました。



校内の掲示物の説明を受けた後は、児童による ISS 全体集会に出席するために体育館へ移動しました。体育館では児童が各委員会の活動や学年ごとの取組みについて報告しました。1年生たちも寸劇で登下校の安全への取組みの様子を再現しました。



その後、音楽室に移動し、パワーポイントを使った取組みの経過や内容に関する報告がありました。まず、先生方から体と心のけがの発生状況について報告があり、それに対して 8 つの指標に基づいて、先生方、児童、地域の方代表、保護者の代表がそれぞれの立場から取組みを報告しました。

一連の報告の後、チョ先生からは、報告された先生、児童、保護者に ISS 活動をしてきて、どういう点がよいと思ったか、子どもの ISS に対して、どう思うか、などの質問がありました。また、JISC 今井からは、報告した資料等の改善点等についてアドバイスがありました。

当日訪問した二校とも ISS 主担当の先生や校長先生などが前任の学校で ISS を経験されていることもあり、ISS をよく理解して取組んでいることが確認され、しっかりした歩みを積み重ねておられると本番を期待したコメントをいただきました。



また、他の自治体や学校から視察で同席された方たちも、この二校の取組みと報告について「とても参考になった」「早速、自分たちの学校にも反映させたい」など感想を述べておられました。